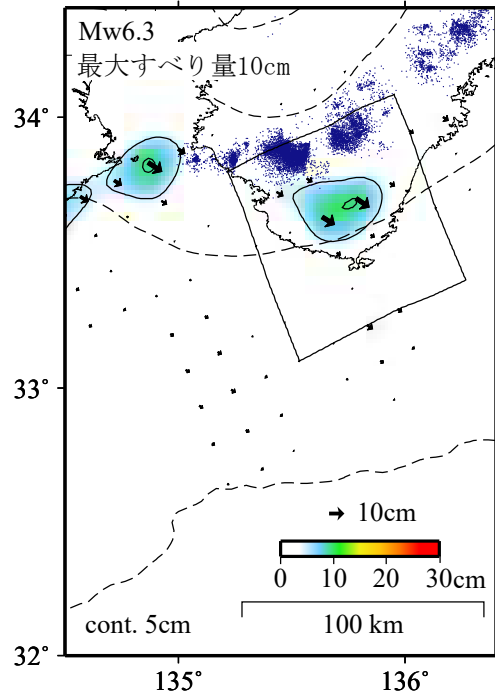
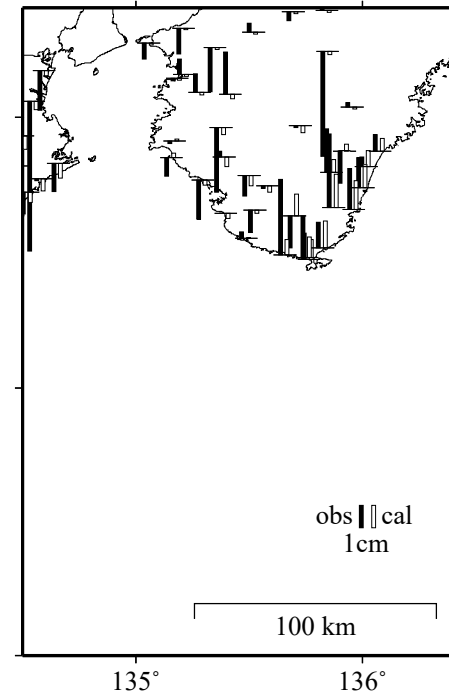
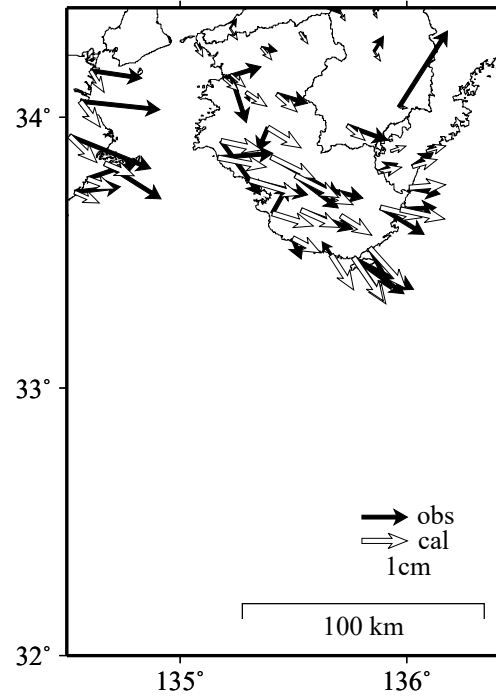


推定すべり分布  
(2020-01-01/2025-06-22)



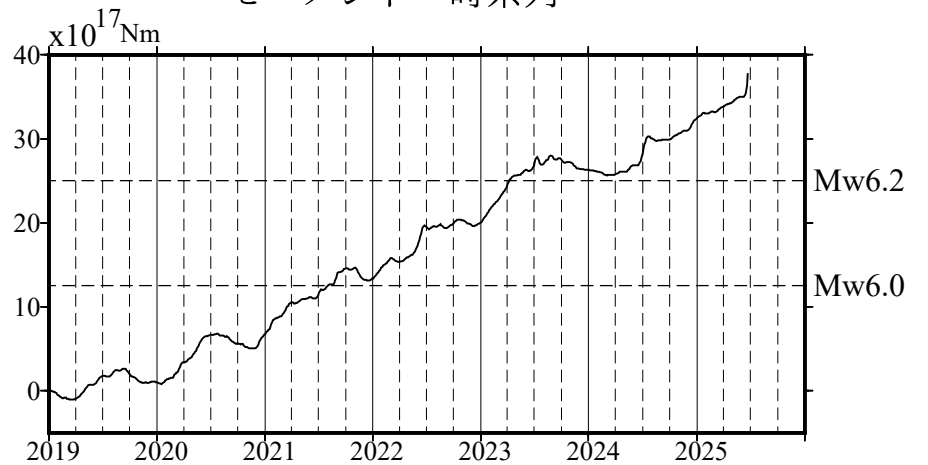
観測値（黒）と計算値（白）の比較  
(2020-01-01/2025-06-22)



Mw及び最大すべり量はプレート面に沿って評価した値を記載。  
すべり量（カラー）及びすべりベクトルは水平面に投影したものを示す。  
推定したすべり量が標準偏差( $\sigma$ )の3倍以上のグリッドを黒色で表示している。  
使用データ:GEONETによる日々の座標値(F5解、R5解)  
F5解(2018-01-01/2025-06-07)+R5解(2025-06-08/2025-06-22)  
トレンド期間(四国東部・紀伊半島):2017-01-01/2019-01-01(年周・半年周成分は補正なし)

モーメント計算範囲:左図の黒枠内側  
観測値:3日間の平均値をカルマンフィルターで平滑化した値  
黒破線:フィリピン海プレート上面の等深線(Hirose et al.,2008)  
すべり方向:プレートの沈み込み方向に拘束  
青丸:低周波地震(気象庁一元化震源)(期間:2020-01-01/2025-06-22)  
固定局:三隅  
\*電子基準点の保守等による変動は補正している。  
\*平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震の粘弾性変形は補正している(Suito 2017)  
\*気象庁カタログ(2017年以降)の短期的ゆっくりすべりを補正している。  
\*共通誤差成分を推定している。  
\*モーメント:断層運動のエネルギーの目安となる量。  
\*種子島の地震(2019-01-08,M6.0)、日向灘の地震(2019-05-10,M6.3;2022-01-22,M6.6)に伴う地殻変動は補正している。  
\*豊後水道の地震(2024-04-17,M6.6)、日向灘の地震(2024-08-08,M7.1;2025-01-13,M6.6)に伴う地殻変動は補正している。  
\*令和6年能登半島地震に伴う地殻変動は補正している。

モーメント\* 時系列



# 紀伊半島南部の観測点の座標時系列(黒丸)と計算値(赤線)

## 時間依存のインバージョン

